

## 異動のごあいさつ

平成31年3月31日付



●小児科・アレルギー科  
**今給黎 亮 先生**

2017年4月から2年間、三重病院の小児科・アレルギー科で働かせていただきました。アレルギー科では赤ちゃんから成人までのアレルギーに悩むたくさんの方の診療に携わり、小児科では外来診療・夜間の救急対応に加え、肥満症の子ども達は外来でも入院でも担当をさせていただきました。また夏のヘルシーキャンプやこども健康調査、喘息キャンプ、秋のこども健康教室など、診察室外でもたくさんの経験

を積むことが出来ました。これまで務めてきた中で、一番バラエティに富んだ仕事をし、非常に充実した2年間でした。

私は見慣れない苗字なので、読めない、書けない、思い出せない、など患者さんだけでなく病院のスタッフにも多大なご迷惑をかけていたと思います。この場を借りてお詫び申し上げます。2019年4月からは、故郷である鹿児島県で小児科医師として働く予定です(この難解な苗字は鹿児島では割と浸透しています)。三重県で学び経験した多くのことと、下手くそな三重弁を胸に、今後も頑張っていきます。三重県でお会いした全ての方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。

本当に、ありがとうございました。



●小児科 **中村 晴奈 先生**

今まで約6年間、三重病院で働かせていただきありがとうございました。振り返るとあつという間の6年でした。

患者さま、先生方、コメディカルの方たちに恵まれ、たくさんの良い経験をし、充実した時間を過ごさせていただいたと感謝しております。悲しいこともたくさんありましたが、うれしいこともたくさんありました。

4月からは東京の国立感染症研究所で、感染症についてより詳しく、より広い視野でいろいろなこと考えられるよう学んできたいと思います。

三重県の医療に貢献できるよう、一回り大きくなって帰ってきたいと思います。

今までみなさまに支えていただいたおかげでこれまでの日々を過ごすことができました。

ありがとうございました。

みなさま、お元気で☆またお会いできる日を楽しみにしております。



## 再任のごあいさつ

平成31年4月1日付



●小児科 **貝沼 圭吾 先生**

### 心新たに

厚生労働省での勤務を終え、2年ぶりに三重病院に戻りました。まず、不在期間に、

多くの患者さんからの「貝沼先生は元気?」といったお言葉を、藤澤院長はじめとする先生方から伝え聞きました。ご自身のこともありながら、私を案じてくださったこと、心より感謝いたします。

さて、厚生労働省は、「ひと、暮らし、みらいのために」と、人生の全てに関わる仕事をしていますが、その中で、私は、国のアレルギー、リウマチ、糖尿病への疾病対策に携わってきました。疾患を持ちながらも、学業や就労といった社会生活と両立するために、医療体制や社会制度の整



備、研究による疾患克服等の多方面からのサポートを考え、実行する役割でした。この経験を通じて、「疾患を持つ方々を取り巻く社会をよりよくしたい」と

いう思いがより強くなりました。

この思いを抱き、心新たに、4月1日に三重病院に戻りました。旧知の患者さんやスタッフが「おかえり!」と

笑顔で迎えてくださる毎日に感謝しています。患者さんのための医療と生活の更なる充実に向けて、皆様の持つ“お困りポイント”を、是非お話しいただき、私と一緒に解決策を探しましょう!

